



**平成28年12月期
2Q決算補足説明資料**

アライドアーキテクツ株式会社

平成28年 8月12日

目次

1. 決算概要
2. ニュースリリース
3. 事業概要
4. 今後の事業展開
5. 参考資料

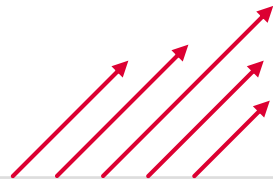
決算概要

- 国内事業はクロスセルの拡大により、**堅調に推移**
- 海外子会社は**初の四半期営業黒字化**(4-6月)

【売上高】

2,646 百万円

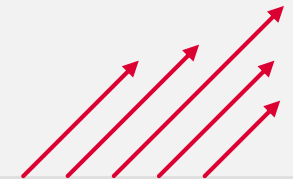
前年同期対比 **158%増**



【営業利益】

108 百万円

前年同期対比 **366百万円増**

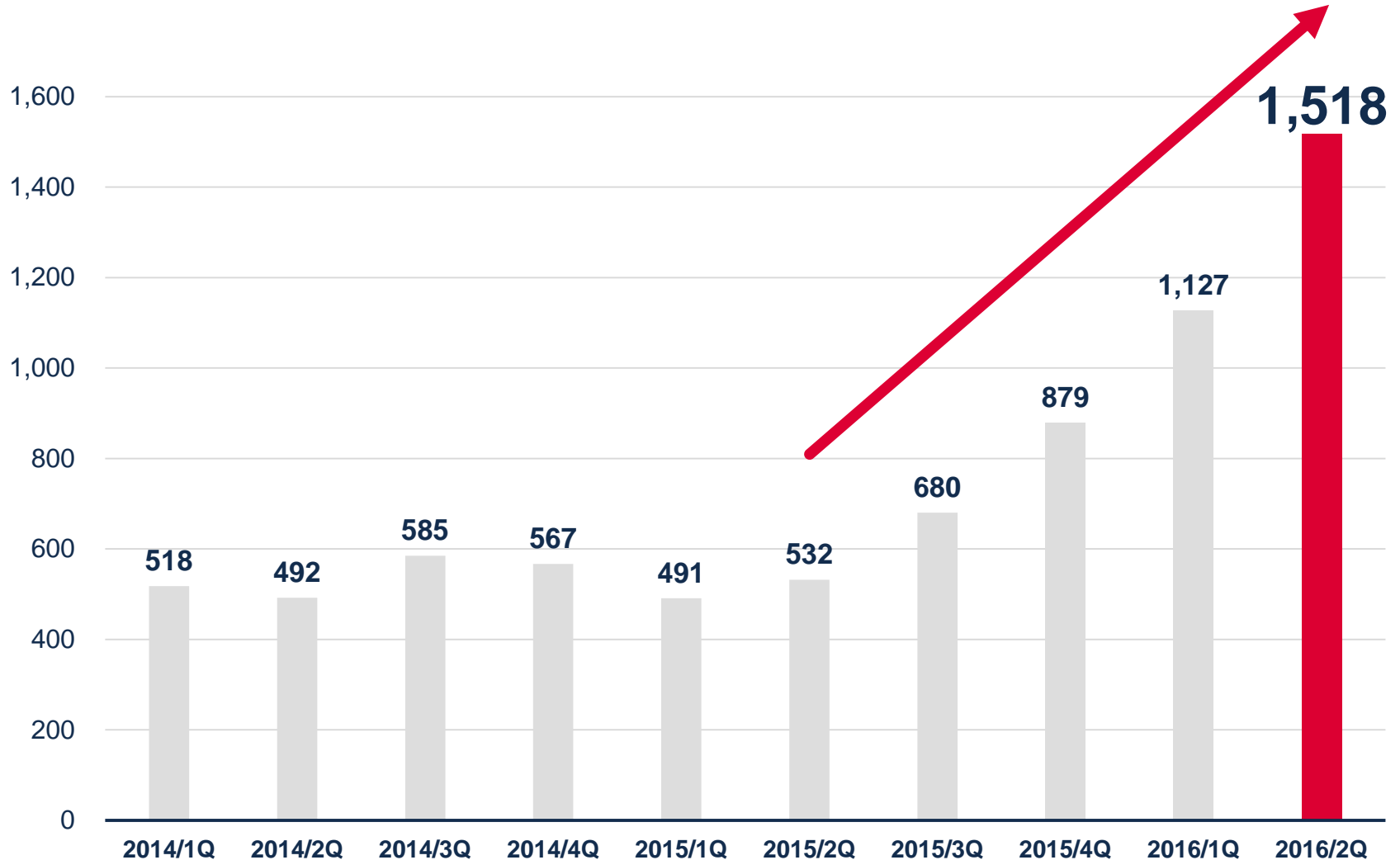


- 海外子会社のSNS広告売上高の増加と、国内事業が堅調に推移したことにより、前年同期対比で**売上高は大幅に増加**
- 営業利益も、売上高の増加に加え継続的なコストコントロールを実施したことで**大幅な増益**となった
- 一方で、急激な円高進行に伴い、海外子会社の通常の外貨建営業取引から発生した債権債務の換算替えから為替差損が65百万円発生し、経常利益は40百万円で着地

| PL | 前年同期対比 | | | |
|------------------|---------|---------|-------|------|
| | 2015年2Q | 2016年2Q | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 1,023 | 2,646 | 1,622 | 158% |
| 売上総利益 | 517 | 699 | 181 | 35% |
| 営業利益 | △258 | 108 | 366 | — |
| 経常利益 | △258 | 40 | 298 | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | △303 | 33 | 336 | — |

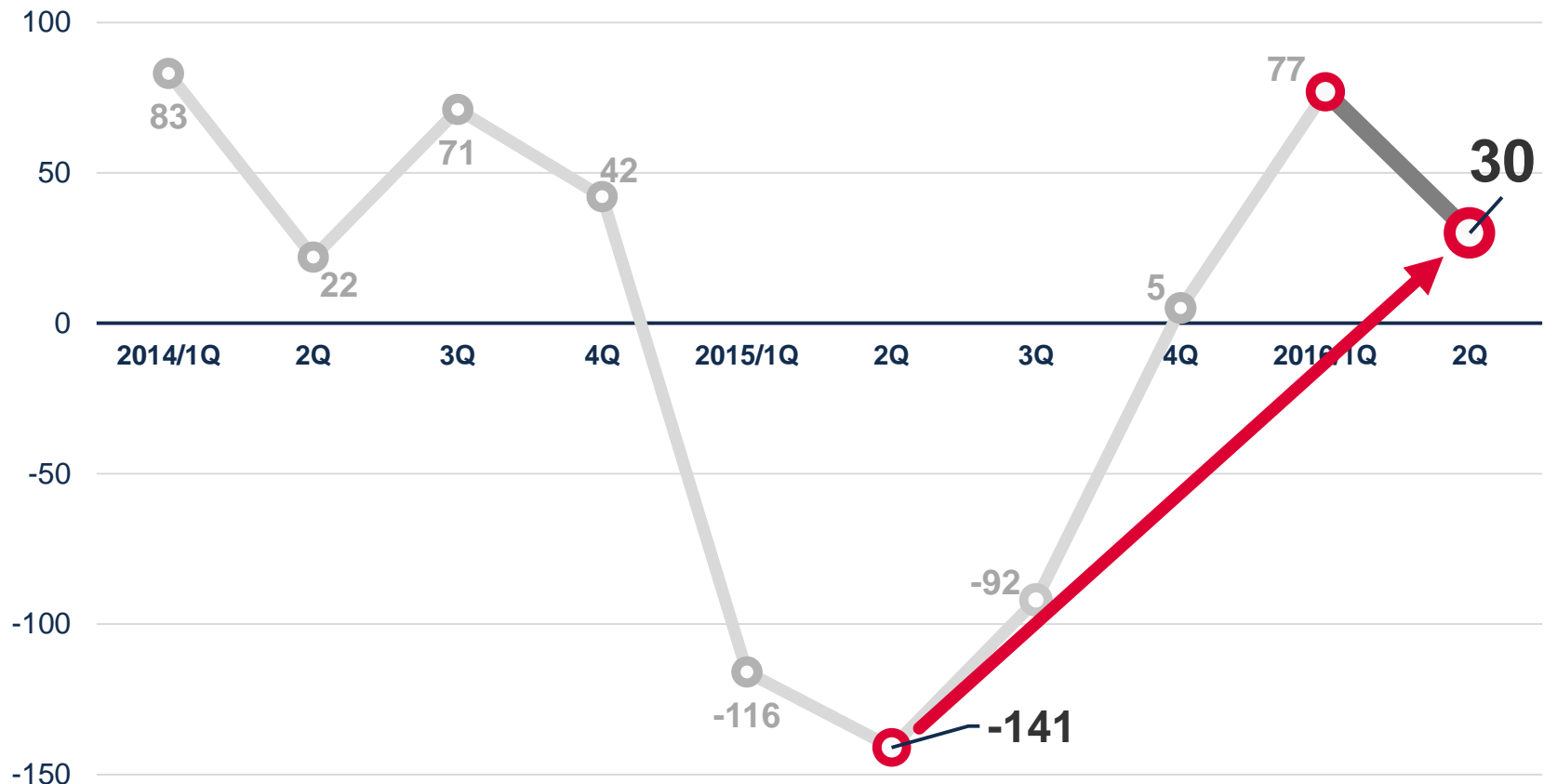
単位：百万円

- 売上高は、高い成長率を維持し4四半期連続で**過去最高を更新**



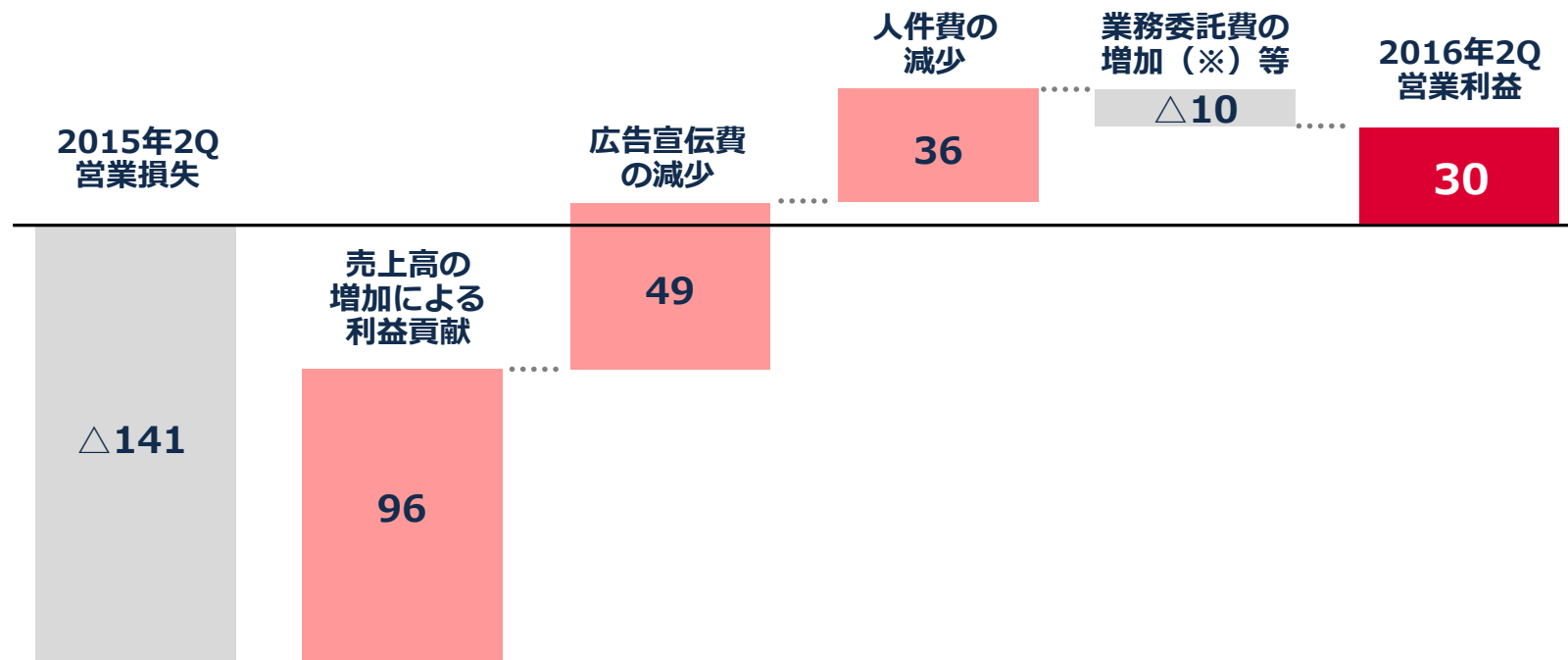
単位：百万円

- 国内事業における季節変動要因により、第1四半期と比較して減益となったものの、前年同期間対比では**172百万円の増益**となった



単位：百万円

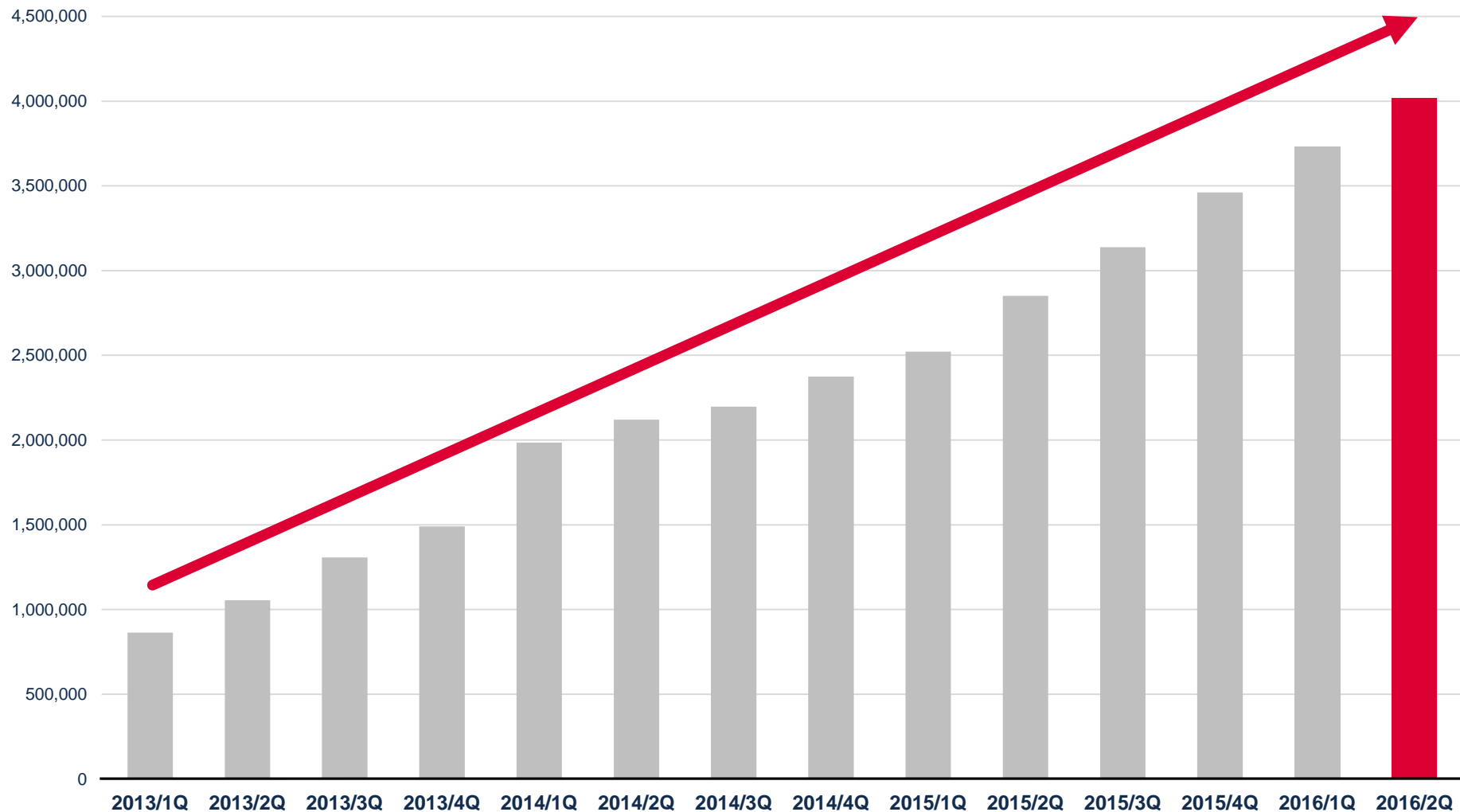
- 前年同期間対比で営業利益が**172百万円**増加
- コストコントロールにより販管費を減少させながら売上高の増加を実現



※人員数の減少による作業負担分を、外部に委託することで、コスト体質の改善と変動費化を図ったことによるもの

単位：百万円

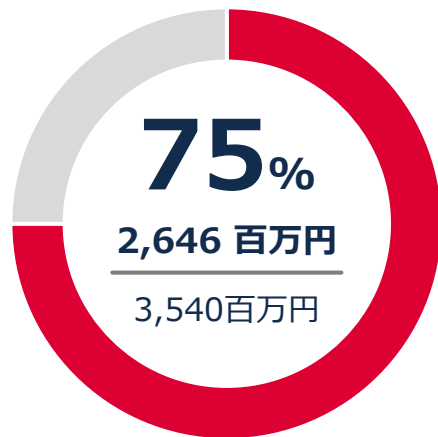
● モニプラの登録ユーザー数は**400万人**を突破



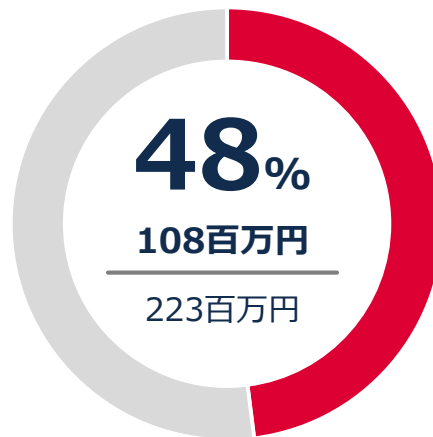
※過去の累積。国内海外合計ユーザー数

- 売上高は、海外子会社におけるSNS広告売上高が当初の想定よりも増加したことにより、業績見通しに対して大きく進捗
- 一方で、急激な円高により外貨建て債権債務の換算替えから為替差損が65百万円発生し、経常利益と当期純利益の進捗率は20%弱となった

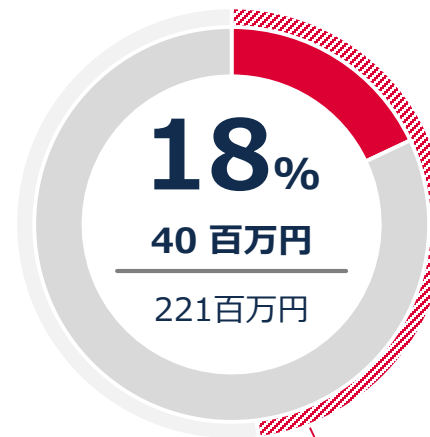
売上高



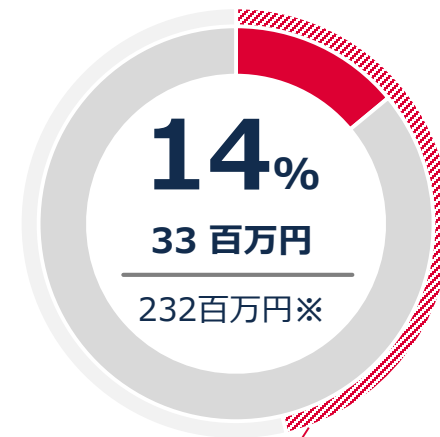
営業利益



経常利益



当期純利益



円高による為替差損を除いた進捗

※ 業績見通しの当期純利益は、繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴う法人税等調整額の計上を見込む

- 売上高について、海外子会社におけるFacebook等のSNS広告売上高が当初の見込よりも大幅に増加したことや、国内事業が堅調に推移したことにより、大幅に増額修正
- 売上高は増加するものの、営業利益率は低下しているが、広告原価の伴うSNS広告の売上高比率の向上が要因であり、顧客企業からの預かり金額は順調に増加を見込む。今後、自社サービスとのクロスセルを進めることにより、利益率の改善を図る
- 経常利益は円高による為替差損等を見込みわずかな増加にとどまる見通し

| | 前回発表予想 | 今回修正予想 | 増減額 | 増減率 | 【参考】 2015年12月期 実績 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|-------------------------|
| 売上高 | 3,540 | 5,509 | +1,969 | +55.6% | 2,583 |
| 営業利益 | 223 | 301 | +78 | +35.0% | △345 |
| 経常利益 | 221 | 224 | +3 | +1.4% | △365 |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 232 | 232 | +0 | +0.0% | △418 |

単位：百万円

| <h2>為替差損発生 の背景</h2> | <h2>現状認識</h2> | <h2>今後の対応方針</h2> |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 当社グループでは、海外子会社が順調に拡大したこと等に伴い、運転資金が増加 ● 親会社から海外子会社へUSD建ての貸付を実施 ● 昨年末から急激に円高が進行したことにより、外貨建て貸付金等のUSD建て債権から、為替差損が65百万円発生 | <ul style="list-style-type: none"> ● 外貨建取引は原則として、営業取引から発生しているものであり、売上高、売上原価ともにUSD建てのため、為替変動が営業利益に与える影響は軽微 ● 期間損益計算上は、換算替えにより為替差損が発生し、経常利益には影響あるものの、為替変動が事業活動に与える影響は軽微 | <ul style="list-style-type: none"> ● 為替リスクにさらされている外貨建ての債権の額は変動しておらず、円貨額の確定の時期もコントロール可能であるものの、損益計算書に与える影響が重要な場合は、戦略的にリスクヘッジを検討 |

ニュースリリース



中国の動画インフルエンサープロジェクト 「Vstar」に参画



- 中国における動画インフルエンサープロジェクト「Vstar（ブイスター）」に日本唯一の初期パートナー企業として参画
- IMS社と連携し中国市場に向けた動画プロモーション支援のさらなる強化を目指す

Vstar（ブイスター）

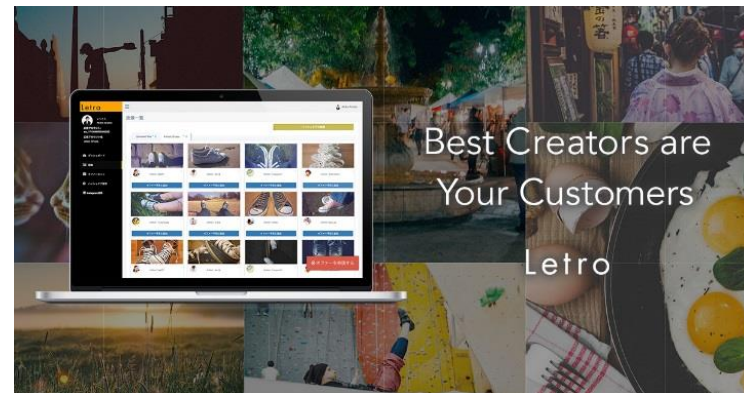
Vstar（ブイスター）とは、中国最大のSNS・Weibo（ウェイボー）と、Weiboのグループ会社・IMS新媒体商业集団が共同で発足した動画インフルエンサーのネットワーク化プロジェクト

IMS社

中国最大のSNS「Weibo」の公式マーケティングパートナーであり、Weiboを運営する新浪公司（SINA Corporation）が出資する中国のSNSマーケティング専門会社（新媒体商业集団 英語表記：IMS）。Weibo上のインフルエンサーを活用した世界唯一の広告配信プラットフォーム「WEIQ（ウェイキュー）」を提供しており、当社はIMS社と日本で初めて「WEIQ」の正規販売代理契約を締結。

UGCを活用したSNS広告運用支援サービス 「Letro（レトロ）」の提供を開始

Letro



- 写真共有SNS「Instagram（インスタグラム）」に投稿された写真・動画などのUGC（※）をSNS広告運用に活用するサービス「Letro（レトロ）」を提供開始

（※：User-Generated Contentsの略。Webサイトのユーザーによって制作・作成されたコンテンツの総称）

Letro

Letroは、企業の商品／サービスを写した写真・動画などのUGCをInstagram上で収集し、Instagram／Facebookの広告バナーとして活用することができる、新たなSNS広告運用支援サービス。Facebook広告APIと連携し、UGCの「収集」から利用許諾などの「確認」、そして「活用」までをワンストップで提供可能。

越境EC分野でベガコーポレーションと協業を開始



- 決済・物流・CSなど必要機能を兼ね備えた越境ECサイト「DOKODEMO（ドコデモ）」を運営しているベガコーポレーションと越境EC分野で協業を開始
- 「国外向けECサイトの構築」と「SNSを活用した販促・集客」という両社のシナジーを活かすことで、海外進出を望む日本国内の事業者に対して効果的な越境EC支援ソリューションを提供

DOKODEMO

DOKODEMOは日本商品を日本企業から海外の自宅まで直送できる免税に対応したインターネットショッピングモール。世界80以上の国と地域で受取ができ、豊富な品揃えに加え、安心の配送サービスとカスタマーサービスにより、日本へ行かなくても日本の商品の購入が可能。

モニプラが企業コミュニティ構築機能を拡充 コメントを介した会員ユーザーとの交流が可能に

monipla



- 「モニプラ」で提供するコミュニティサイト構築機能を拡充し、企業／ブランドのコミュニティ上に「コメント欄」を手軽に搭載できる専用プラグインを新たに追加
- 企業／ブランドの「会員向けコミュニティサイト」を短期間でWeb上に構築可能

モニプラ

モニプラは、SNSユーザーを企業／ブランドの「ファン会員」として集め、マーケティングの目的や課題に合わせて多様な施策を展開することができるSNS連携型のマーケティングプラットフォーム。「プロモーション」「データ分析」「顧客管理・CRM」「コミュニティ活用」「マネタイズ」の5つの領域で独自のマーケティングシステムを提供。今回拡充したコミュニティサイト構築機能では、モニプラ独自のCMSを利用して企業／ブランドの会員向けコミュニティを短期間で構築可能。

世界の中小企業向けにセルフサーブ型の SNS広告運用サービス「ReFUEL4 Spark!」を提供開始



- シンガポール子会社のReFUEL4が、世界の中小企業に向けて、セルフサーブ（自社運用）で Facebook／Instagram広告出稿が最適化できるサービス「ReFUEL4 Spark!」を提供開始
- クリック率などの具体的な成果に応じてデザインやコスト配分が自動的にチューニングされるため、専門的な知識や技術、潤沢な予算・人員を持たない中小企業でも、自社内で効率的な広告運用が可能

ReFUEL4®

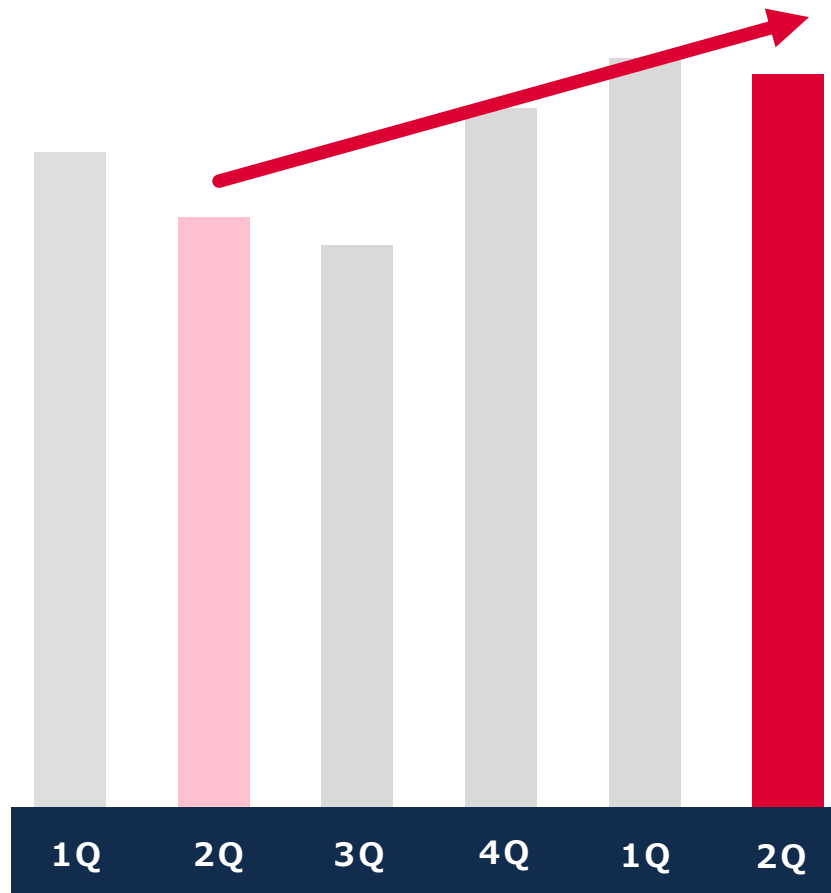
ReFUEL4®は、FacebookやInstagramに広告を出稿したい企業と、広告の制作を請け負いたいクリエイターをマッチングし、オンライン上で広告クリエイティブの発注・納品を可能にするグローバルプラットフォームサービス。これまでに米IBM社や米PayPal社、中国Cheetah Mobile社など多数の世界的企業がサービスを導入しており、クリエイターの登録者数は93カ国で1万人超にのぼる。広告の制作数や採用数ではなく実際のCTR（クリック率）に応じて費用が発生する従量課金制により、企業は広告施策の大幅な効率化が可能となり、またクリエイターは制作した広告の成果に比例して報酬を手に入れる。

2016年4月、米Facebook社が年間で最も革新的なマーケティングサービス/テクノロジーを選出する「2016 Facebook Innovation Spotlight」の Creativity（クリエイティビティ）部門を受賞。

事業概要

- SNSプロモーションサービス売上高

- ・ 2Qは季節変動要因があるものの、SNSデータを活用したキャンペーン等のプロモーション需要は引き続き安定的に増加基調



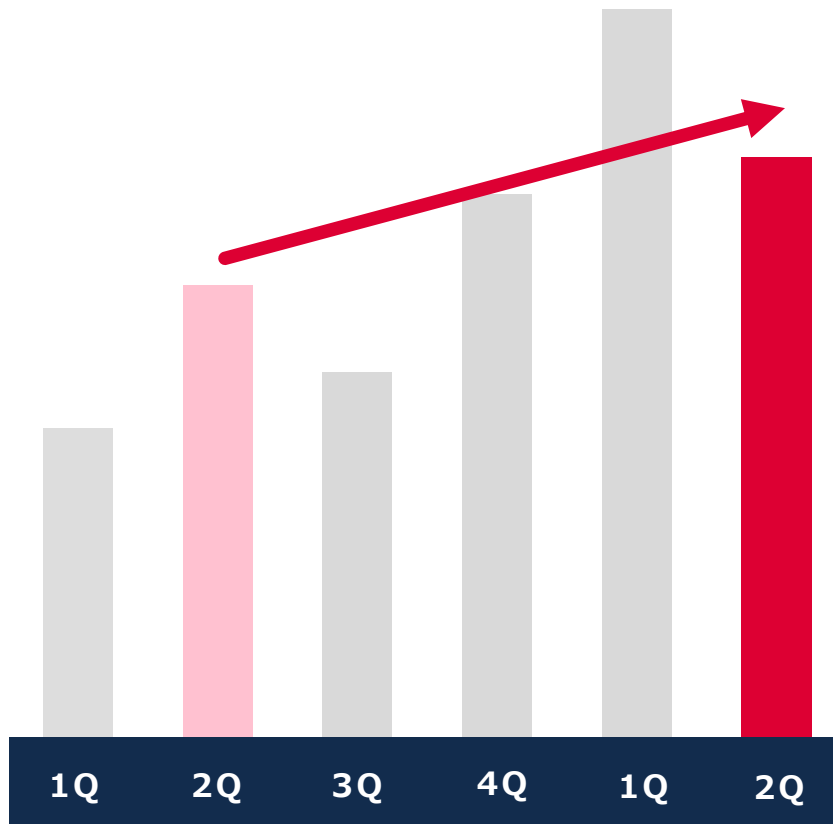
monipla

前年同期対比

38% 増加

● SNS広告関連サービス売上高

- 2Qは季節要因があるものの、SNSデータを活用したSNSプロモーションサービスとのクロスセルも進み売上高は増加基調
- 今後もSNS広告市場の拡大や動画広告の需要拡大等に伴い受注額の増加を見込む

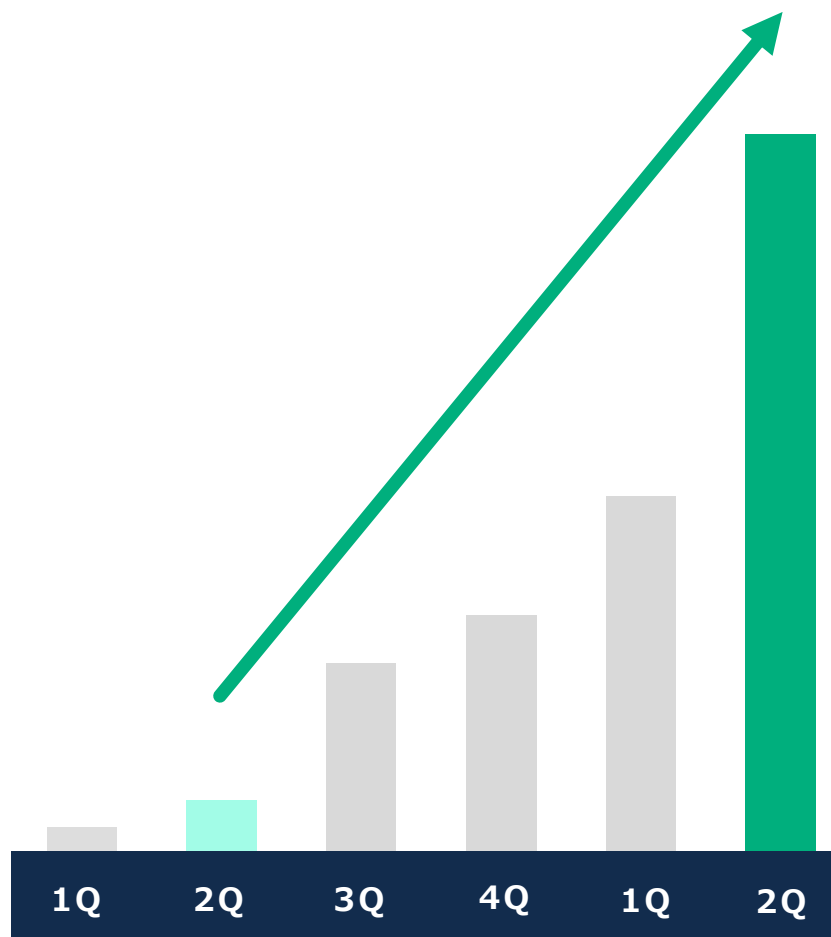


前年同期対比

39% 増加

● ReFUEL4 売上高

- SNS広告市場の拡大に伴いFacebook等の広告売上高が大幅に増加
- 主力サービスである SNS広告クリエイティブ制作プラットフォーム「ReFUEL4」についても**堅調に推移**



 **ReFUEL4**

前年同期対比

1250% 増加

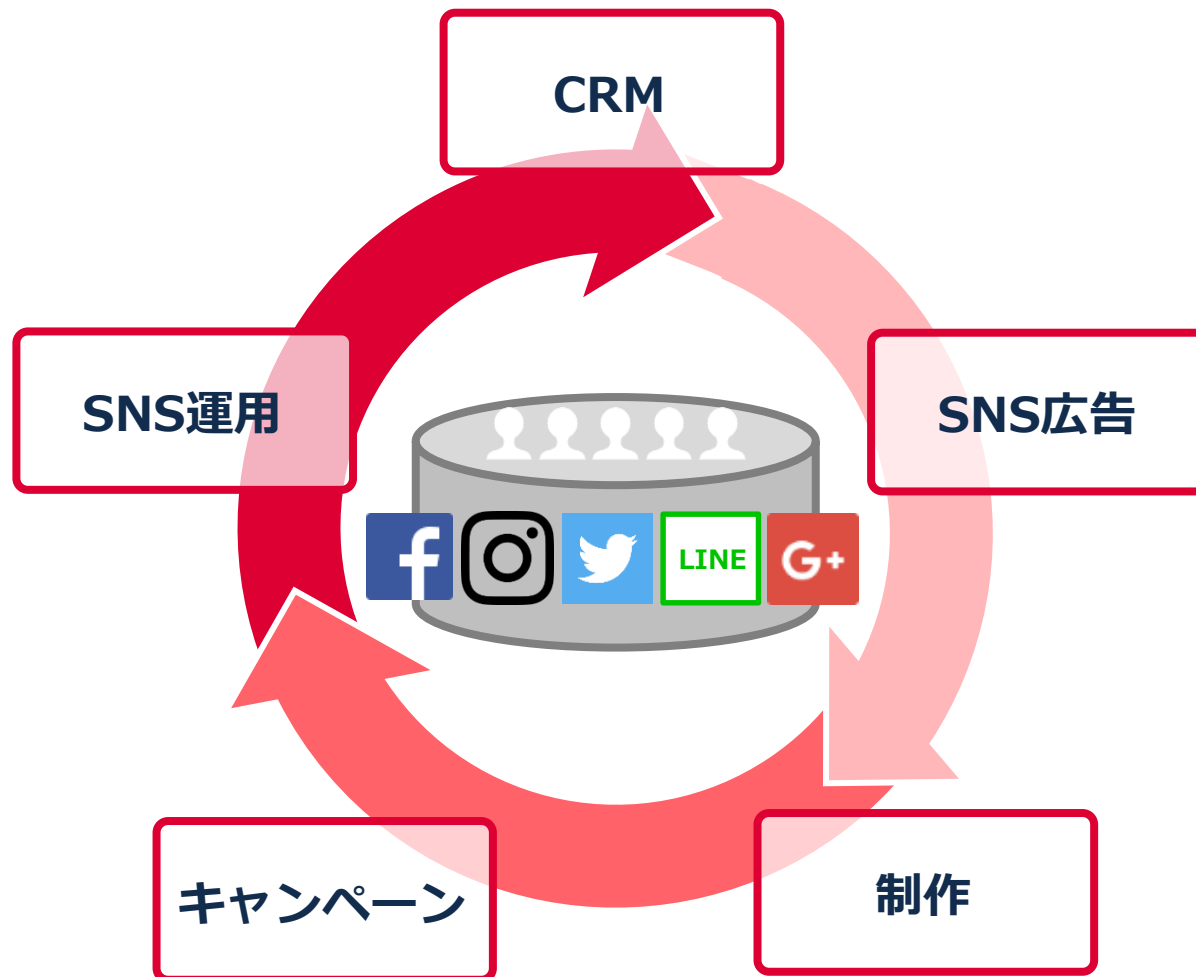
今後の事業展開

| 圧倒的な支援実績 | ワンストップソリューション | SNSプラットフォームとの強固な連携関係 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 累計4,000社以上の膨大なプロモーション実績に基づくノウハウ● 400万人以上の登録ユーザーの属性や趣味嗜好等に関わる質の高いデータを蓄積 | <ul style="list-style-type: none">● SNSに関連した、専門性や独自性の高い様々なサービスを保有● 顧客企業のニーズに合わせて一気通貫で提供可能 | <ul style="list-style-type: none">● Facebook等、進化の早い各SNSプラットフォームのパートナーに認定● 最新の開発情報やAPIの利用が可能 |

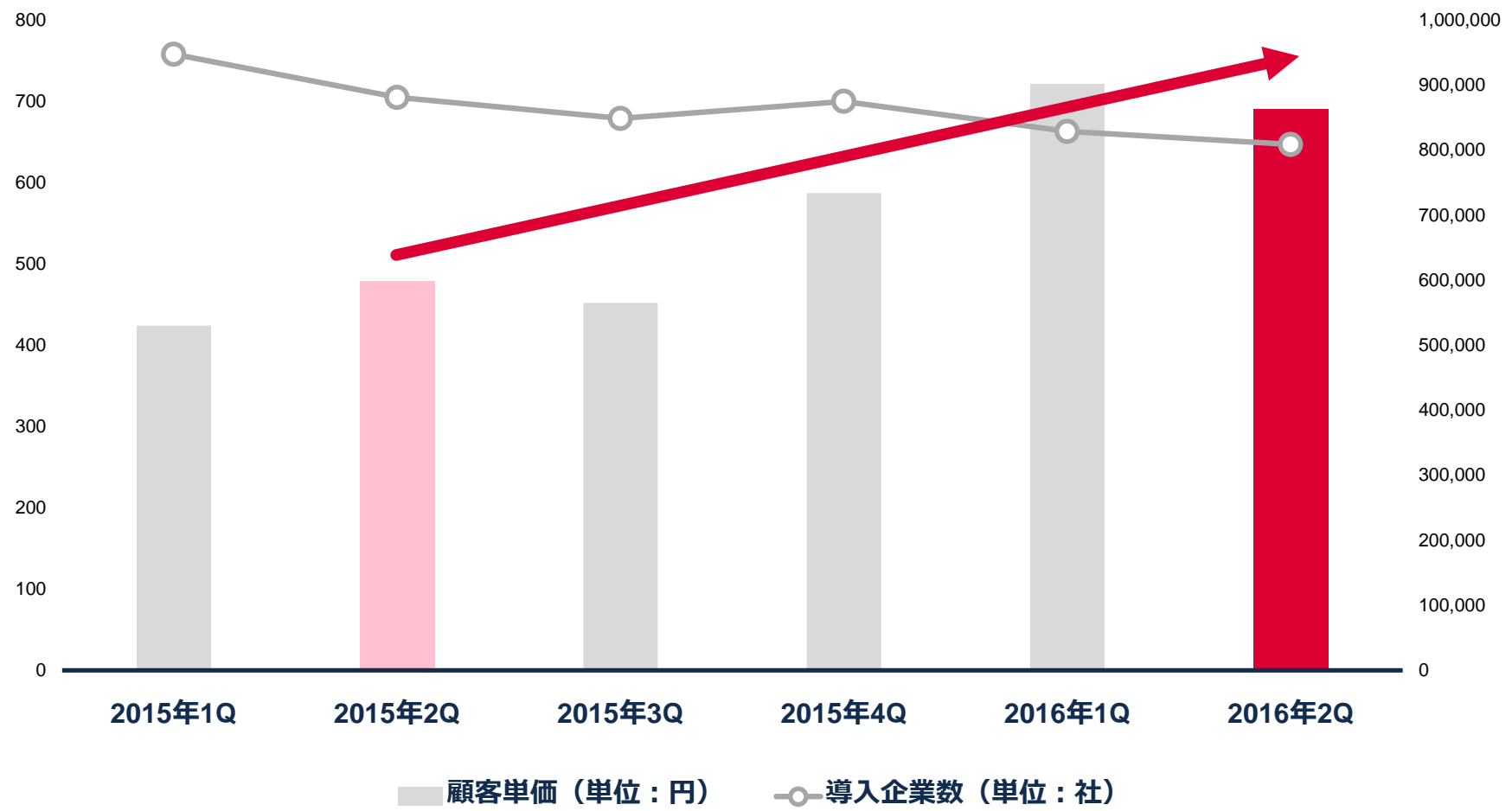


SNSに特化した事業展開を行ってきた結果、SNSに関する膨大な支援実績に基づいた、様々なソリューションを一気通貫で提供可能

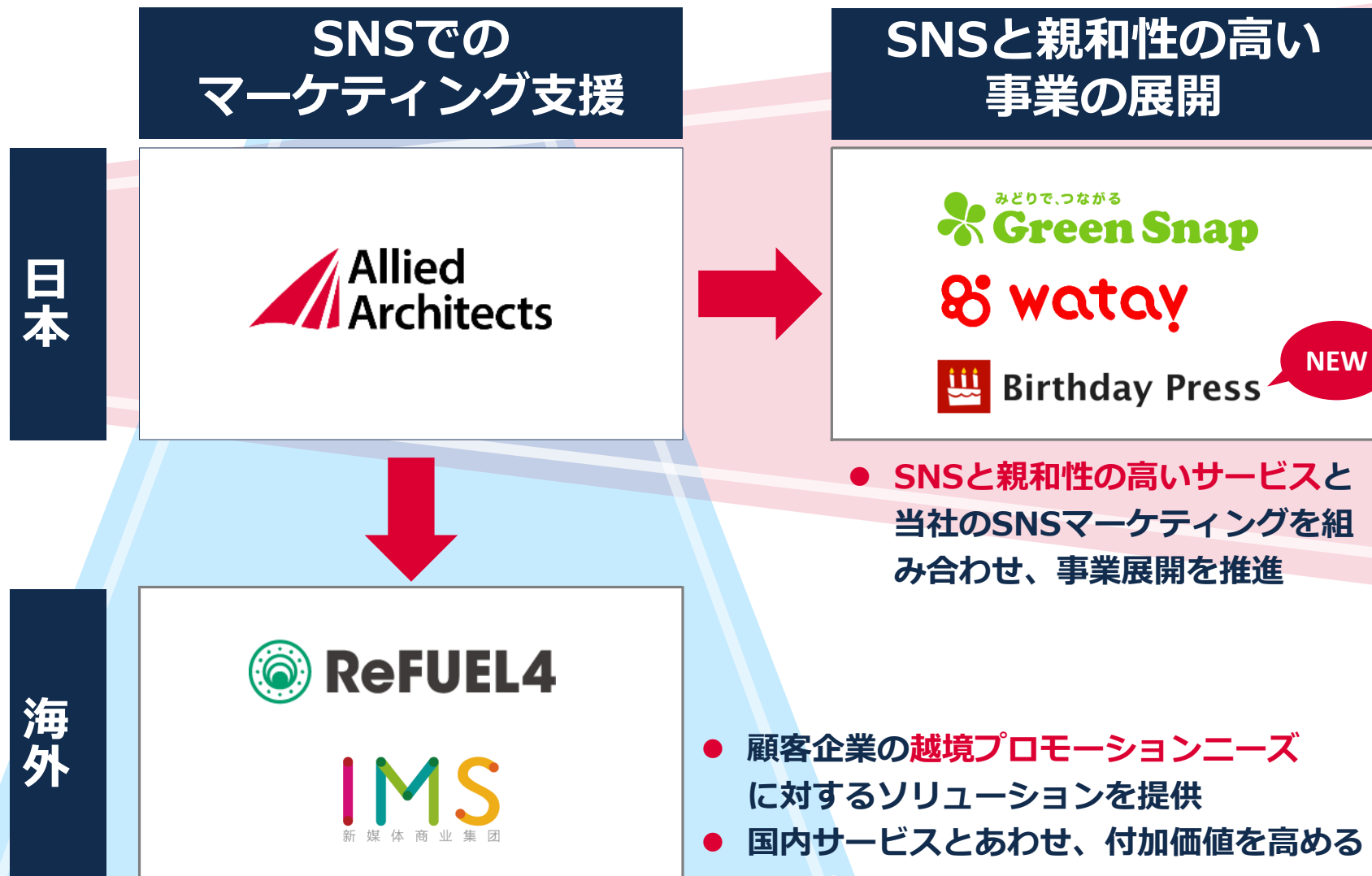
- SNSに関連した各サービスを、一気通貫で提供することで**相乗効果**が生まれ、SNSマーケティング全体の**効果が高まる**
- 顧客企業に対する付加価値の向上を実現



- SNSプロモーションサービスとSNS広告関連サービスのクロスセルにより、
導入企業 1社あたりの単価は増加基調



- 日本国内のSNSマーケティングで多くの顧客支援に携わってきたスキル・ノウハウを活かし、越境プロモーション支援と国内での事業展開へ事業領域を拡大



ケーキの総合宅配サイト「Birthday Press」を運営する 株式会社FLASHPARKを持分法適用関連会社化



flashpark

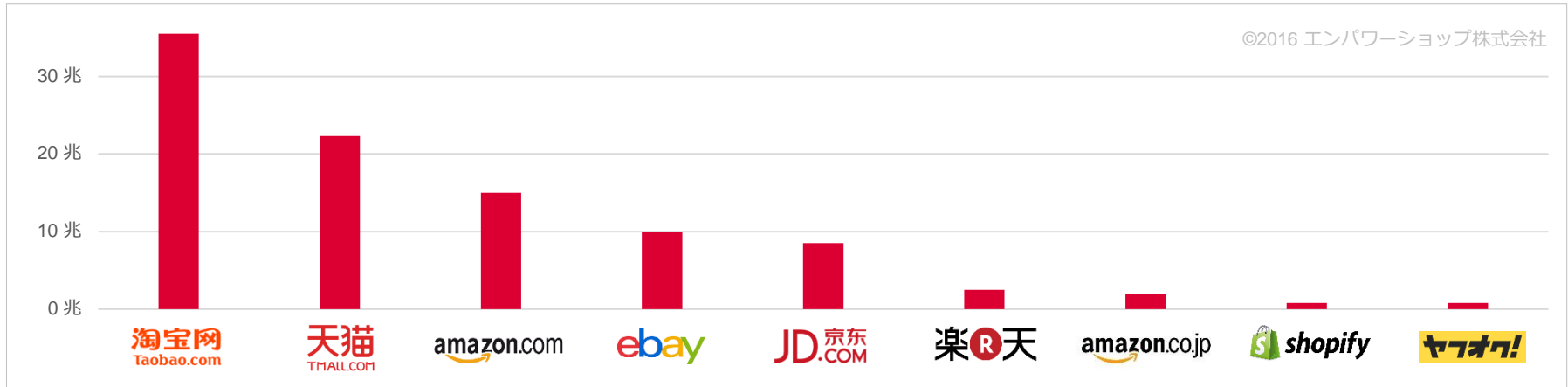
- 株式会社FLASHPARKの株式の21.1%を取得し、持分法適用関連会社化
- SNSとの親和性が高い“お祝い”や“ケーキ”を対象としたサービスに、当社がこれまで蓄積してきたSNSマーケティングのノウハウを生かした事業展開を進める

Birthday Press

Birthday Pressは日本全国500以上の洋菓子店舗と3,000種類以上の商品ラインナップを有する業界最大級のケーキ通販サイト。個人での誕生日や記念日のお祝い、法人向けのイベントやパーティー、福利厚生等にも幅広く利用されている。2015年11月より飲食店向けサービスを開始しており、個人店から大手チェーン店まで幅広く展開。2016年4月1日現在で、139社（約2,500店舗）が導入。

- 日本と比較して中国等のEC市場は極めて大きく、海外のEC市場でプロモーションを行いたい日本企業は増加

各国ECサービス年間流通総額



各国越境EC市場規模推計 (2014年～2018年)

(単位: 億円)

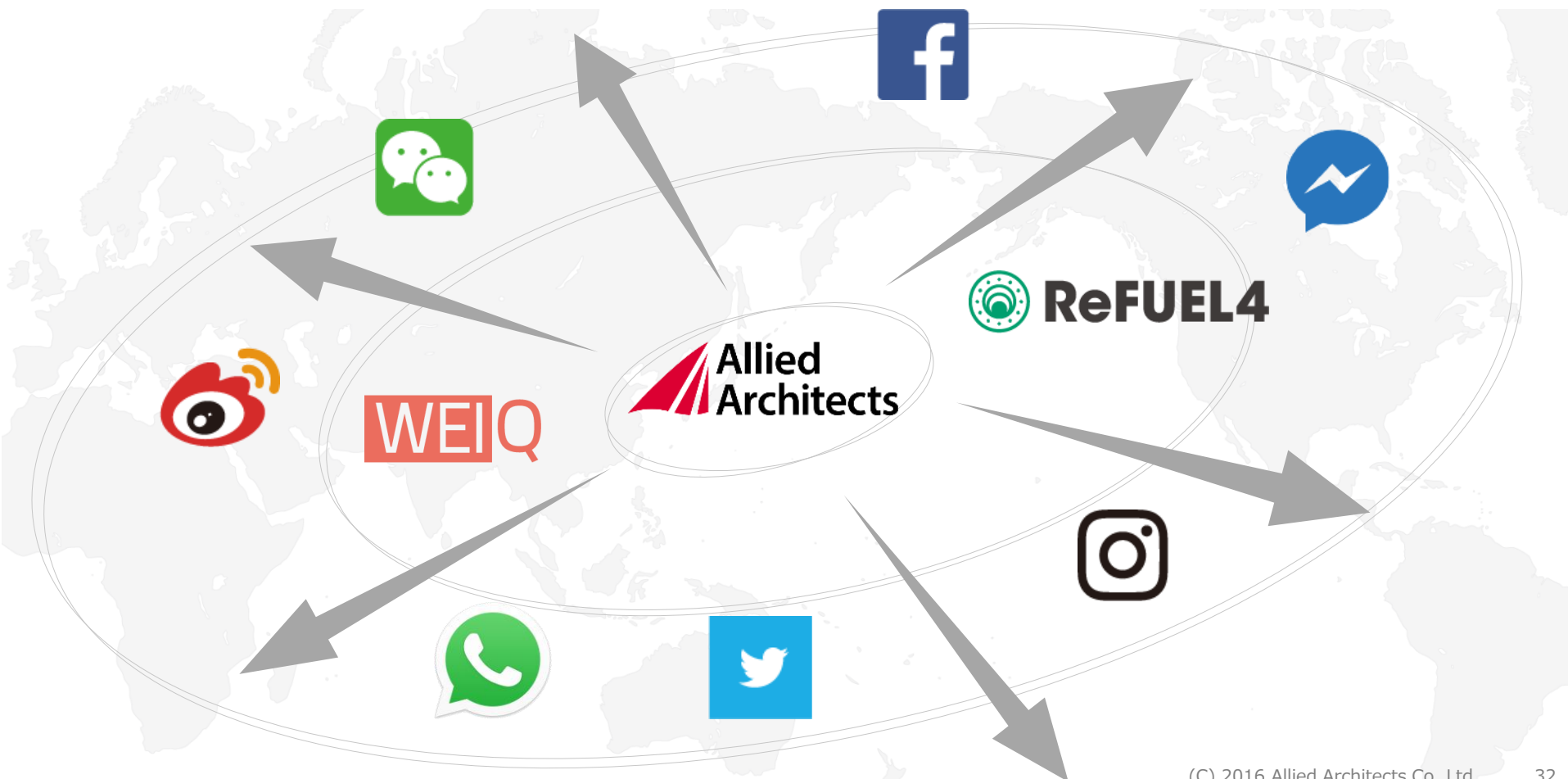
(単位: %)

| 消費国 | 販売国 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2018/2014 |
|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|
| 日本 | アメリカ | 1,889 | 2,074 | 2,258 | 2,448 | 2,647 | - |
| | 中国 | 197 | 216 | 235 | 255 | 276 | - |
| | 合計 | 2,086 | 2,290 | 2,493 | 2,703 | 2,923 | 140.1% |
| アメリカ | 日本 | 4,868 | 5,534 | 6,250 | 7,006 | 7,803 | - |
| | 中国 | 3,266 | 3,713 | 4,193 | 4,700 | 5,235 | - |
| | 合計 | 8,134 | 9,247 | 10,443 | 11,706 | 13,038 | 160.3% |
| 中国 | 日本 | 6,064 | 8,006 | 9,994 | 12,047 | 13,943 | - |
| | アメリカ | 6,290 | 8,305 | 10,366 | 12,496 | 14,463 | - |
| | 合計 | 12,354 | 16,311 | 20,360 | 24,543 | 28,406 | 229.9% |

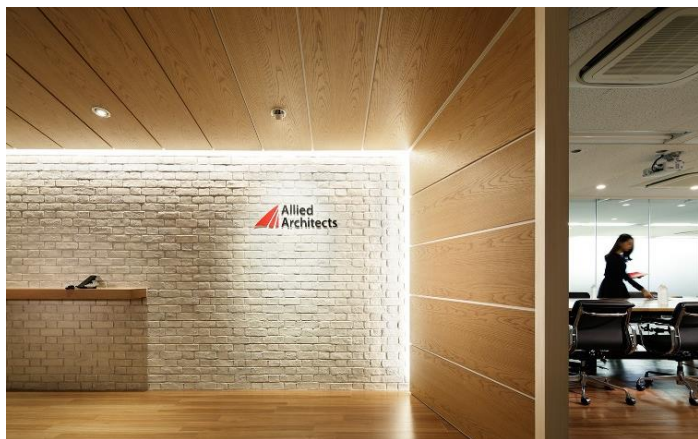
- 中国最大のSNS「Weibo」や「WeChat」上のインフルエンサーを活用した広告配信プラットフォーム「WEIQ」のサービスを、在日本企業に向けて提供
- 中国ではSNS上のインフルエンサーの影響力が大きく、インフルエンサーの活用により、**安価で効果的なプロモーションが可能**



- SNSに特化した事業展開を進めてきた知見を活かし、海外への越境プロモーションニーズに対しても、SNSに関連した独自のソリューションを提供
- 国内外のSNSマーケティングについて一括でサービス提供が可能



参考資料



会社名 アライドアーキテクト株式会社（証券コード6081）

所在地 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル

設立 2005年8月

代表者 代表取締役社長 中村壮秀

資本金 602百万円（2015年12月31日現在）

社員数 163名（2015年12月31日現在 連結）

事業内容 SNSプロモーション総合支援プラットフォーム
「モニプラ」の運営、SNS広告関連サービスの提供 等



ソーシャルテクノロジーで、
世界中の人と企業をつなぐ

- SNS利用者向けに、「フォトコンテスト」「懸賞」「アンケート」などのキャンペーンをWeb上で手軽かつ低コストで開催できるASP型サービス

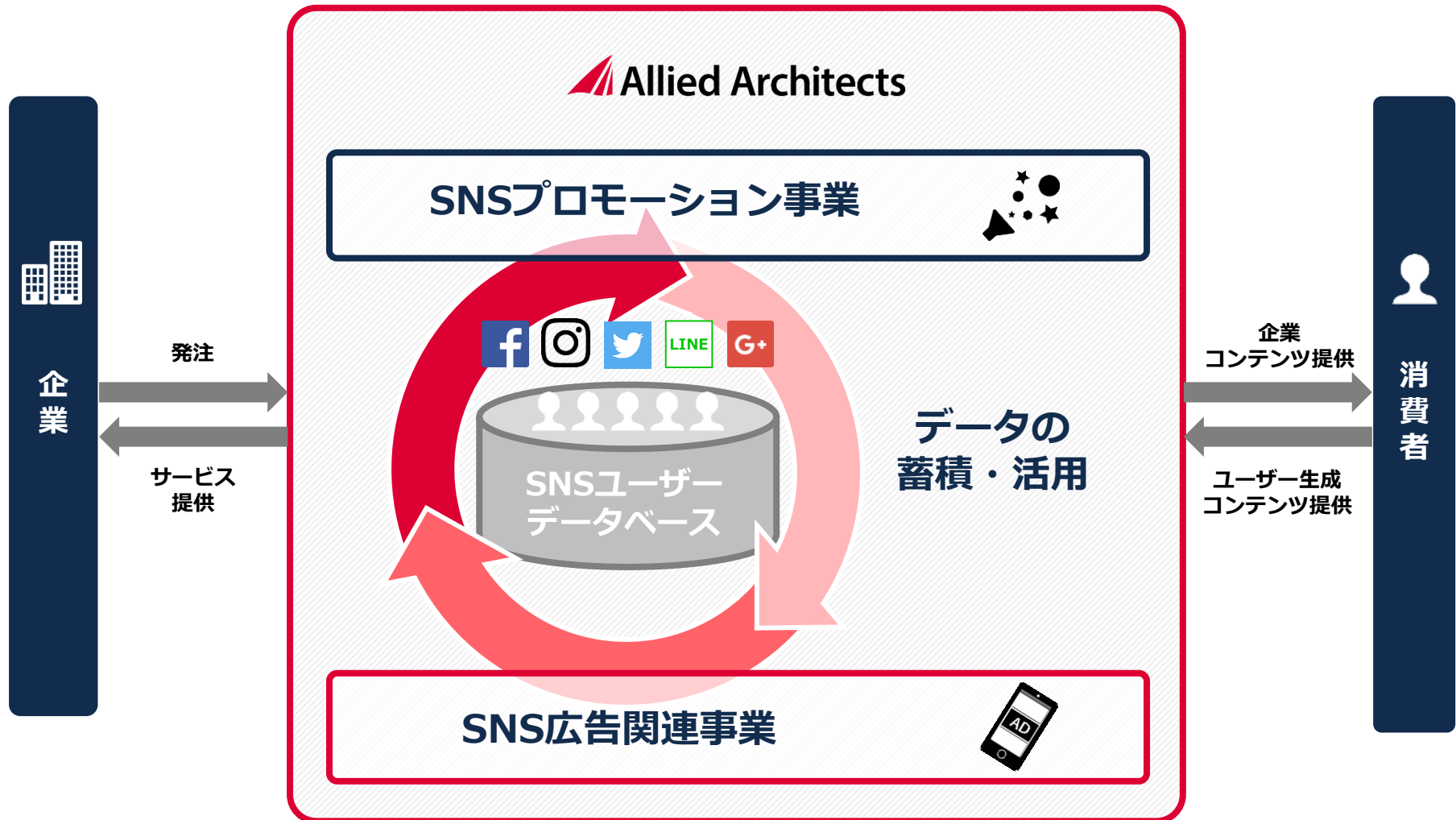
パソコン版



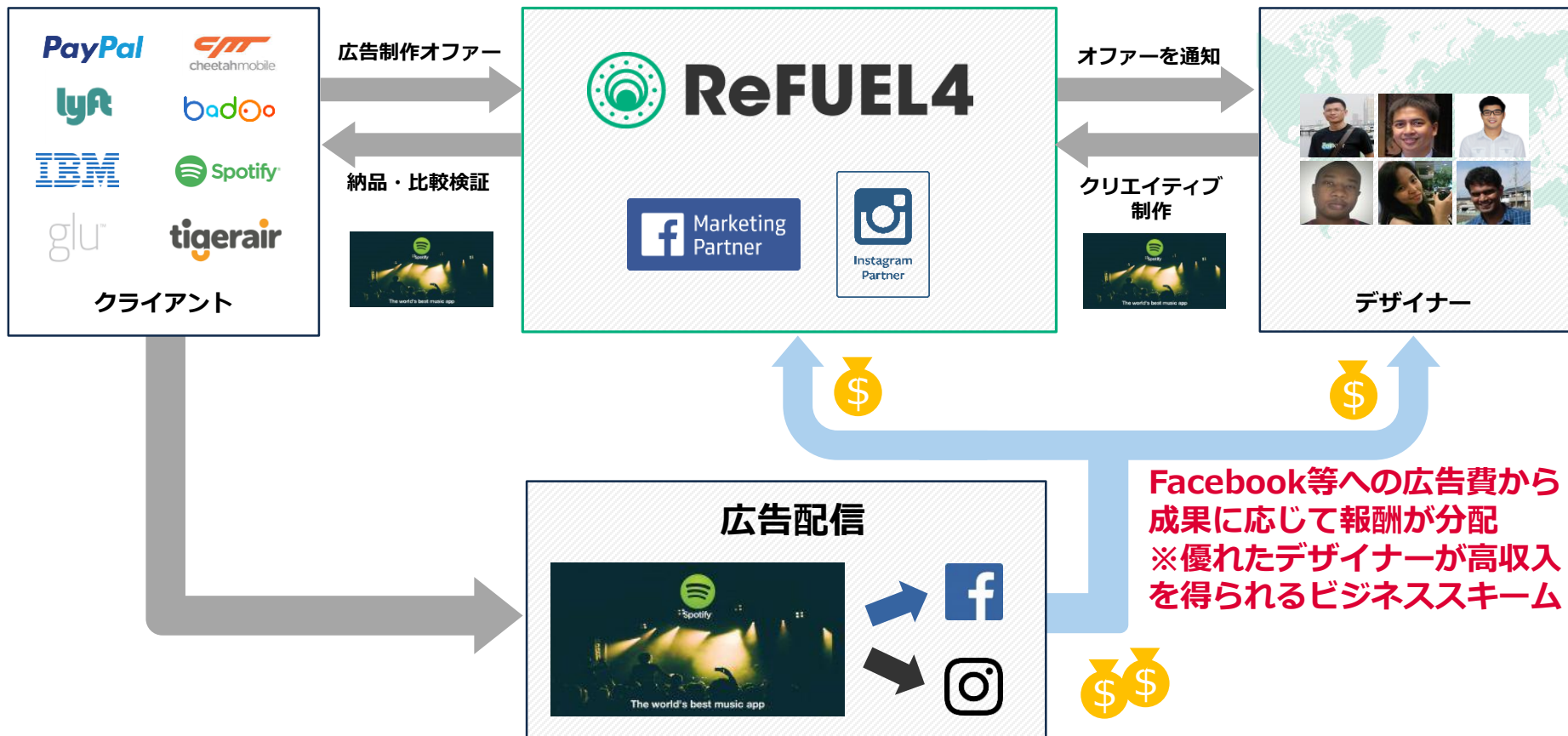
スマートフォン版



- SNSプロモーション事業とSNS広告関連事業を展開
- ユーザーから「収集」したSNSデータを「蓄積」し「活用」するまでをワンストップで支援することで、顧客企業にとって最適なSNSマーケティングを実現



- **SNS広告クリエイティブ制作プラットフォーム「ReFUEL4」**
Facebook等に出稿したい企業と、広告の制作を請け負いたいクリエイターをマッチングし、オンライン上で広告クリエイティブの発注・納品を可能にするプラットフォームサービス。
デザイナーの登録者数は93カ国で計10,000人にのぼる。多くのグローバル企業での導入が進んでおり、高い満足度を獲得。



将来見通しに関する注意事項

この資料は、アライドアーキテクト株式会社（以下、当社）の現状を理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。